



HANKYU HANSHIN LETTER

株主通信

2011年6月発行・V01.19

【ブックファースト梅田店の「絵本よみきかせ会」】
株)阪急リテールズでは、ブックファースト梅田店において、毎月第3土曜日の15～16時の1時間、2～10歳の子どもたちに、自分で選んだ絵本や児童書を読み聞かせる『絵本よみきかせ会』を実施しております。この取り組みを通じて、子どもたちが本の楽しさを発見し、豊かな心を育むお手伝いできればと思っております。

株主の皆様へ

このたびの東日本大震災で被災された皆様に対して、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧がなされますことを衷心よりお祈り申し上げます。

さて、当社の2010年度の連結決算につきましては、昨年10月に業績予想の下方修正を発表いたしました。各コア事業におけるコスト削減等により、営業利益、経常利益は当初見込みを上回る数値を計上いたしました。その結果、配当につきましては、従来どおり一株あたり5円の配当をさせていただくことになりました。これからも当分の間は、厳しい事業環境が続くと思われますが、引き続きグループをあげて、業績向上に取り組んでまいりますので、何卒ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

次に、最近の主な取り組みですが、都市交通事業では、阪急電鉄(株)において、より一層「安全・安心・快適」に駅をご利用いただけるよう、各駅の改札口付近に録画機能を備えた防犯カメラを設置したほか、主要16駅において、改札内にお入りいただかなくてもお問い合わせ等に気軽にお立ち寄りいただける「ごあんないカウンター」を順次設置するなど、駅設備とサービスの充実を努めております。

また、不動産事業では、4月29日に茶屋町東地区第一種市街地再開発事業のタワー棟に「NU chayamachi プラス」がオープンし、おかげさまで開業後連日、多くのお客様で賑わっております。

この大阪・梅田地区においては、2013年春の竣工に向けて建設工事中のうめきた(大阪駅北地区)先行開発区域プロジェクトの施設名称を、大阪の新しい玄関

口にふさわしい「世界に開かれた最前線のまちであり続けたい」という思いをこめて、「グランフロント大阪 (GRAND FRONT OSAKA)」に決定し、同プロジェクトの多様な情報を発信する公式サイトを大幅リニューアルオープンしたほか、本年10月で阪急阪神グループが誕生して5周年を迎えることを記念して、当社グループ各社をはじめ、阪急百貨店・阪神百貨店と協力して、3月16日から5月末まで「梅田GOGOキャンペーン」を実施するなど、グループをあげて、梅田地区の魅力向上に努めております。

今後、グループ全体の一層の発展を目指して邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年6月



代表取締役社長

高橋 和夫

目次

株主の皆様へ	1
2010年度 連結決算・単体決算の概要	2
2011年度予想と目標とする経営指標について	9
東日本大震災の被災者に対する支援活動について	10

4月1日から、阪急電鉄でのおでかけがもっと安心、もっと快適に	11
トピックス	
Topics	12
環境保全への取り組み	18
株主メモ	19

▶ 経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、長引く雇用不安等により、依然として厳しい状況で推移した一方で、設備投資や個人消費など一部の指標には持直しの傾向が見られましたが、東日本大震災の発生により、先行きは不透明なものとなりました。

この間、当社グループにおきましては、2012年度を目標年度とする「阪急阪神ホールディングスグループ2007 中期経営計画」を実現すべく、グループ経営機能を担う当社の下、中核会社を中心に、各コア事業の競争力強化を図るとともに、コア事業間の連携を通じてグループ総合力の発揮に努めました。

しかしながら、不動産事業においてマンション分譲戸数が前連結会計年度に大型物件の竣工・引渡しがあっ

た反動により減少したことに加え、東日本大震災の影響等もあり、営業収益は6,387億70百万円と前連結会計年度に比べ145億17百万円減少いたしました。営業利益は、各コア事業ともコストの削減に努めましたが、固定資産除却費の増加等もあり647億43百万円と前連結会計年度に比べ53億83百万円減少し、また、経常利益は464億94百万円と前連結会計年度に比べ39億15百万円減少いたしました。当期純利益は、前連結会計年度に持分法適用関連会社株式に計上されていた持分法のれん相当額を一括償却し特別損失に計上した反動等により、特別損益が改善したこと等から180億68百万円と前連結会計年度に比べ72億75百万円増加いたしました。

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2010年度	638,770	64,743	46,494	18,068
対前年同期増減額	△ 14,517	△ 5,383	△ 3,915	7,275
対前年同期増減率	△ 2.2%	△ 7.7%	△ 7.8%	67.4%

▶ 財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により2兆3,146億69百万円と前連結会計年度末に比べ226億62百万円減少いたしました。負債合計は、有利子負債が減少したこと等により1兆8,277億22百万円と前連結会計年度末に比べ289億

75百万円減少いたしました。また、純資産合計は、利益剰余金の増加等により4,869億47百万円と前連結会計年度末に比べ63億13百万円増加し、自己資本比率は20.6%となりました。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2010年度	2,314,669	486,947	20.6	377.17
2009年度	2,337,331	480,633	20.1	371.70
比較増減	△ 22,662	6,313	0.5	5.47

※当社グループでは自己資本比率を(自己資本)÷(総資産)として算出しております。なお、自己資本は、純資産から少数株主持分を差し引いた金額を表しております。

2010年度 連結決算の概要

▶ 連結貸借対照表

科 目	金 額
資産の部	百万円
流動資産	
現金及び預金	23,947
受取手形及び売掛金	71,281
販売土地及び建物	131,782
商品及び製品	7,949
仕掛品	4,668
原材料及び貯蔵品	3,949
繰延税金資産	13,160
その他	29,422
貸倒引当金	△ 322
流動資産合計	285,837
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	602,710
機械装置及び運搬具(純額)	53,242
土地	896,085
建設仮勘定	132,243
その他(純額)	15,939
有形固定資産合計	1,700,220
無形固定資産	
のれん	41,248
その他	17,671
無形固定資産合計	58,919
投資その他の資産	
投資有価証券	221,004
繰延税金資産	4,170
その他	45,848
貸倒引当金	△ 1,332
投資その他の資産合計	269,691
固定資産合計	2,028,832
資産合計	2,314,669

2011年3月31日現在

科 目	金 額
負債の部	百万円
流動負債	
支払手形及び買掛金	40,404
短期借入金	297,464
1年内償還予定の社債	40,000
未払法人税等	3,865
未払費用	18,908
賞与引当金	3,960
その他	142,621
流動負債合計	547,227
固定負債	
社債	127,000
長期借入金	780,908
繰延税金負債	157,577
再評価に係る繰延税金負債	6,667
退職給付引当金	58,770
役員退職慰労引当金	767
投資損失引当金	6,050
長期前受工事負担金	15,862
その他	126,888
固定負債合計	1,280,495
負債合計	1,827,722
純資産の部	
株主資本	
資本金	99,474
資本剰余金	150,027
利益剰余金	243,264
自己株式	△ 4,036
株主資本合計	488,729
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△ 11,936
繰延ヘッジ損益	△ 232
土地再評価差額金	1,706
為替換算調整勘定	△ 2,464
その他の包括利益累計額合計	△ 12,927
少数株主持分	11,144
純資産合計	486,947
負債純資産合計	2,314,669

▶ 連結損益計算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

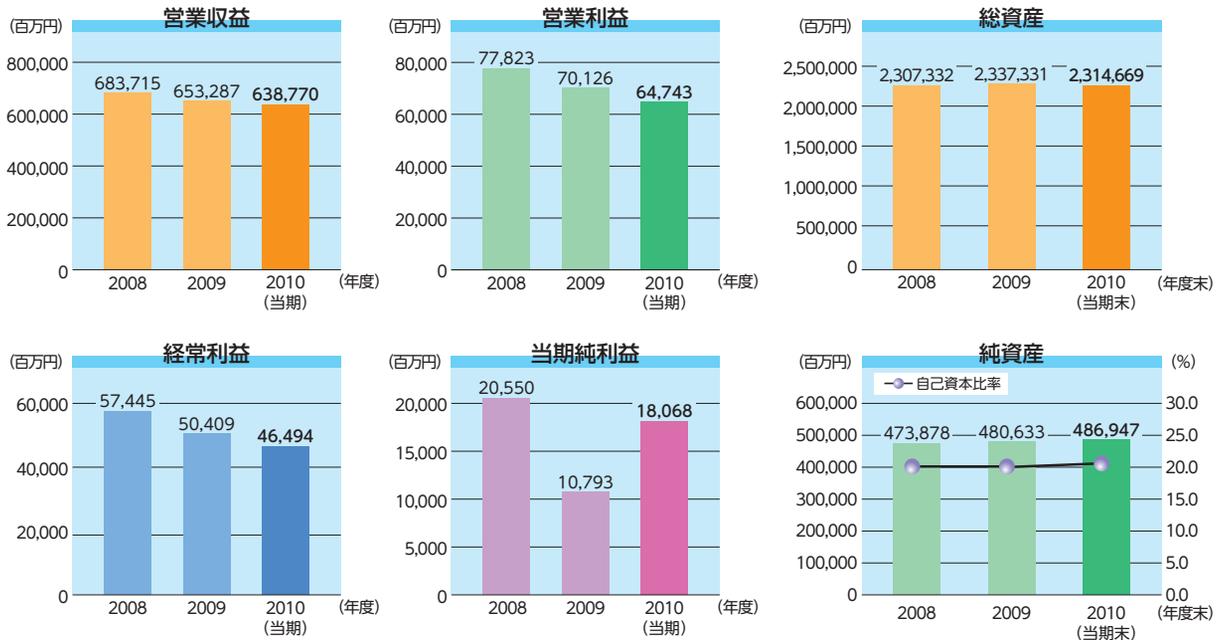
科 目	金 額
	百万円
営業収益	638,770
営業費	
運輸業等営業費及び売上原価	541,473
販売費及び一般管理費	32,552
営業費合計	574,026
営業利益	64,743
営業外収益	
受取利息	92
受取配当金	1,082
持分法による投資利益	3,309
雑収入	2,487
営業外収益合計	6,972
営業外費用	
支払利息	22,222
雑支出	2,999
営業外費用合計	25,222
経常利益	46,494
特別利益	
固定資産売却益	354
工事負担金等受入額	12,089
その他	1,059
特別利益合計	13,504
特別損失	
固定資産売却損	502
固定資産圧縮損	11,175
固定資産除却損	1,232
減損損失	4,261
固定資産臨時償却費	3,083
貸倒引当金繰入額	16
投資損失引当金繰入額	78
事業整理損失引当金繰入額	2,780
その他	4,106
特別損失合計	27,237
税金等調整前当期純利益	32,760
法人税、住民税及び事業税	6,054
法人税等調整額	7,975
法人税等合計	14,030
少数株主損益調整前当期純利益	18,730
少数株主利益	661
当期純利益	18,068

(注1)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)消費税等の会計処理は税抜き方式によっております。

(注1)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注2)消費税等の会計処理は税抜き方式によっております。



▶ 連結有利子負債

当連結会計年度については、梅田阪急ビル建て替え工事をはじめとする設備投資等を行ったものの、それらを上回る営業キャッシュフロー等が生じたことにより、当連結会計年度末における連結有利子負債残高は1兆2,516億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて309億17百万円の減少となりました。

なお、当社グループでは、連結有利子負債を収益力に見合った水準まで圧縮することを基本方針としており、財務の健全性を示す指標の一つである連結有利子負債/EBITDA(償却前営業利益)倍率は、2010年度実績で9.8倍となりました。引き続き財務体質の改善に向けて取り組んでまいります。



※連結有利子負債残高にリース債務を含んでおります。

※当社グループでは、EBITDAを(営業利益)+(減価償却費)+(阪急・阪神の統合に伴うのれん償却額)として算出しております。

2010年度 連結決算の概要

▶ セグメント別営業成績

当連結会計年度のセグメント別営業成績は以下のとおりとなりました。

都市交通事業

連結対象会社24社

主要な会社 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急バス、阪神バス等

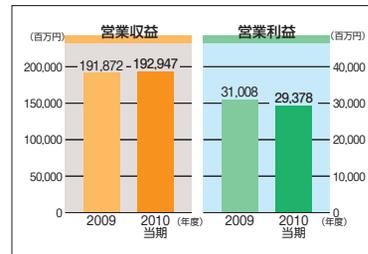
鉄道事業では、阪神なんば線が、定期旅客が順調に伸長したことに加え、平城遷都1300年祭の開催等に伴い行楽需要が増加したこと等により、好調に推移いたしました。

神戸高速線(阪神元町駅及び阪急三宮駅～西代駅間)においては、2010年10月から、阪神電気鉄道及び阪急電鉄の両社が同線の一体的な運営を開始し、お客様のさらなる利便性の向上に努めております。また、2010年3月に開業100周年を迎えた阪急電鉄において、各種の記念イベントを開催したほか、阪急京都線において、京都の町家をイメージした内装の「京とれいん」の運行を開始するなど、グループ各社において旅客誘致を目的とした各種施策に取り組みました。

施設面では、2010年12月に、阪急西宮北口駅において、今津方面行き新高架ホームの供用を開始するなど、引き続き、連続立体交差事業やバリアフリー化工事の推進等による整備・改善に努めました。

自動車事業では、2010年4月に、阪急西宮北口駅と阪神甲子園駅とを結ぶバス路線を新設したほか、9月には、阪急バス・阪神バスのいずれかの一部路線に係る定期券をお持ちのお客様を対象として、他方の特定のバス路線を土休日に割引運賃でご利用いただけるサービスを開始するなど、お客様の利便性の向上を図りました。また、2010年4月1日付で、阪急バス・阪神バス両グループの自動車整備業を統合するなど、事業の効率化にも努めました。

これらの結果、営業収益は1,929億47百万円と前連結会計年度に比べ10億75百万円増加いたしました。固定資産除却費の増加等により、営業利益は293億78百万円と前連結会計年度に比べ16億29百万円減少いたしました。



不動産事業

連結対象会社13社

主要な会社 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急不動産、阪神不動産、阪急阪神ビルマネジメント等

不動産分譲事業では、マンション分譲において、「ジオ彩都いぶきの森」、「ザ・千里レジデンス」、「プランズ・ジオ等々カ」等を、宅地分譲において、「阪急宝塚山手台」、「大阪中島公園都市 ハピアガーデン四季のまち」等を分譲いたしました。

不動産賃貸事業では、グループ各社が保有するオフィスビル・商業施設において、稼働率の維持に注力しながら、管理運営コストの削減に取り組みました。また、現在建て替え中の梅田阪急ビルにおいては、2010年5月にオフィス棟(「梅田阪急ビル オフィスタワー」)が開業し、引き続き阪急百貨店Ⅱ期棟(Ⅰ期棟は2009年9月先行開業)の建設工事を進めております。このほか、2010年5月には新大阪駅に直結する新大阪阪急ビルの建設工事に着手し、また、「うめきた」(大阪駅北地区)先行開発区域等の大規模開発事業についても、鋭意進めております。

しかしながら、マンション分譲において、分譲戸数が前連結会計年度に大型物件の竣工・引渡しがあつた反動により減少したこと等から、営業収益は1,527億30百万円と前連結会計年度に比べ157億21百万円減少し、営業利益は239億96百万円と前連結会計年度に比べ69億42百万円減少いたしました。



エンタテインメント・コミュニケーション事業

連結対象会社17社

主要な会社 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪神タイガース、宝塚クリエイティブアーツ、ベイ・コミュニケーションズ等

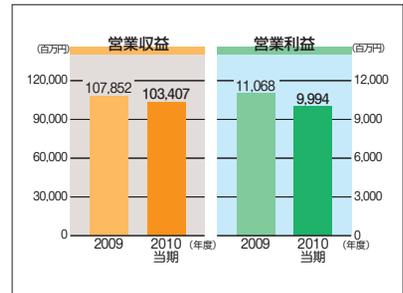
スポーツ事業では、阪神タイガースが、シーズン終盤まで優勝争いを展開するとともに、クライマックスシリーズへの出場を果たし、多くのファンの方々にご声援をいただきました。また、阪神甲子園球場では、物販・飲食の商品・メニューを充実させるなど、魅力ある施設運営に取り組むとともに、スコアボードの更新工事を実施するなど、引き続き快適な観戦環境の提供に努めました。

ステージ事業では、歌劇事業において、宝塚大劇場・東京宝塚劇場で、2008年に上演し話題となった「THE SCARLET PIMPERNEL(スカーレット ピンパーネル)」を月組で再演し、特に好評を博したほか、2001年にフランスで初演されたミュージカル「ロミオとジュリエット」を雪組で上演いたしました。また、演劇事業においても、梅田芸術劇場で、同ミュージカルを宝塚歌劇団星組により上演したほか、「ファントム」等の話題性のある公演を催しました。

コミュニケーション・メディア事業では、ケーブルテレビ事業において、トリプルプレイ(多チャンネル・インターネット・電話)サービスの営業に注力し、加入契約者数を順調に伸ばしました。

さらに、六甲山地区において、2010年7月に「自然体感展望台 六甲枝垂れ」を開業したほか、現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2010」、「六甲山 氷の祭典」等を開催し、多くのお客様にご来場いただきました。

しかしながら、前連結会計年度には、歌劇事業において、「エリザベト」やトップスター退団公演の関連商品販売が好調であったことの反動に加え、東日本大震災の影響により、プロ野球のシーズン開幕延期や東京宝塚劇場における歌劇公演の中止があったこと等により、営業収益は1,034億7百万円と前連結会計年度に比べ44億45百万円減少し、営業利益は99億94百万円と前連結会計年度に比べ10億74百万円減少いたしました。



旅行・国際輸送事業

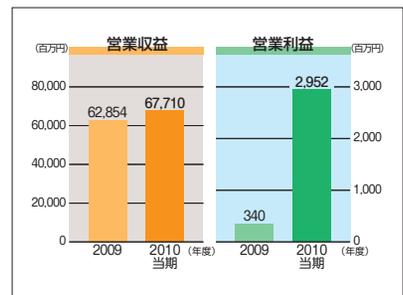
連結対象会社25社

主要な会社 阪急阪神交通社ホールディングス、阪急交通社、阪急阪神エクスプレス等

旅行事業では、海外旅行が、欧州方面を中心に順調に推移し、国内旅行についても、近畿方面を始めとして堅調に推移しておりましたが、2011年1月以降、チュニジアやエジプトにおける政情不安、東日本大震災等の影響を受け、厳しい事業環境となりました。

国際輸送事業では、2008年秋以降の世界経済の急速な悪化による大幅な需要の低迷から抜け出し、海外法人において回復の傾向が見られました。日本法人においても、輸出が概ねリーマンショック以前に近い水準で推移し、輸入も円高効果等により持直しの動きが見られました。

これらの結果、営業収益は677億10百万円となり、新型インフルエンザや世界経済低迷の影響を大きく受けた前連結会計年度に比べ48億56百万円増加し、営業利益は29億52百万円と前連結会計年度に比べ26億11百万円増加いたしました。



2010年度 連結決算の概要

ホテル事業

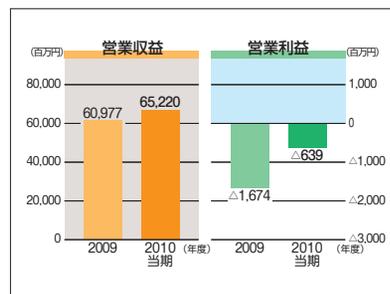
連結対象会社 7社

主要な会社 阪急阪神ホテルズ、阪神ホテルシステムズ等

ホテル事業では、新規の直営レストランとして、大阪新阪急ホテルの串揚げ「なにわ橋」、第一ホテル東京の日本料理「明石」、ホテル阪神の中国料理「香虎(シャンフウ)」等を開業いたしました。また、大阪新阪急ホテルにおいて、3期にわたる全面リニューアルの第1期工事として、ロビー、宴会場及びバイキングレストラン「オリンピア」を改装するなど、競争力の強化に向けた取り組みを推進いたしました。

さらに、「北海道フェア」、「阪神タイガースご声援感謝フェア」等の各種キャンペーンを実施するなど、積極的な販売促進活動に努めるとともに、ウェブ戦略の強化に向け、阪急阪神第一ホテルグループウェブサイトの全面リニューアルや中国語・韓国語によるインターネット宿泊予約サイトの拡充等の施策も推進いたしました。

これらの結果、2010年4月1日付で、飲食事業をホテル事業へ移管したこともあり、営業収益は652億20百万円と前連結会計年度に比べ42億43百万円増加いたしました。一方、東日本大震災の影響等により、営業損益は6億39百万円の損失となったものの、前連結会計年度に比べ10億34百万円改善いたしました。



7

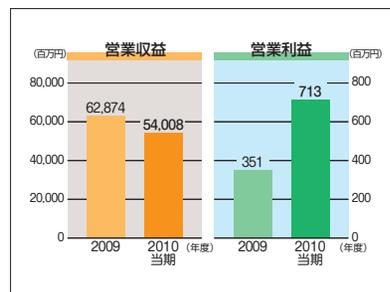
流通事業

連結対象会社 3社

主要な会社 阪急電鉄、阪急リテールズ等

流通事業では、「梅田阪急ビル オフィスタワー」にコンビニエンスストア「アズナス 梅田阪急ビル店」、阪急桂駅に惣菜店「クックデリ御膳 桂店」を出店したほか、首都圏においても、書店「ブックファースト アトレ吉祥寺東館店」、家具・生活雑貨店「ダブルデイ たまプラーザ テラス店」を出店するなど、沿線内外において積極的な店舗展開を図り、事業規模の拡大に努めました。また、既存店舗のリニューアルや不採算店舗からの撤退を機動的に行うなど、競争力の強化と収益性の向上にも注力いたしました。

これらの結果、2010年4月1日付で、飲食事業をホテル事業へ移管したこと等により、営業収益は540億8百万円と前連結会計年度に比べ88億65百万円減少いたしました。営業利益は7億13百万円と前連結会計年度に比べ3億62百万円増加いたしました。

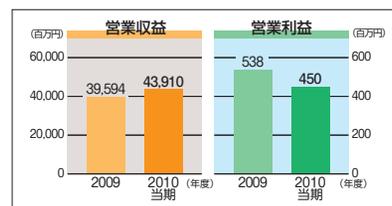


その他の事業

連結対象会社19社

主要な会社 ハンシン建設、中央電設等

子会社2社を連結子会社化したこと等により、営業収益は439億10百万円と前連結会計年度に比べ43億15百万円増加いたしました。営業利益は4億50百万円と前連結会計年度に比べ87百万円減少いたしました。



(注) 上記のセグメント別営業成績は、当連結会計年度から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」を適用したことに伴い、同会計基準において導入されたマネジメント・アプローチ(企業の最高意思決定機関が意思決定や業績評価において使用する企業活動を区分した事業単位で開示する考え方)に基づいて算出しており、前連結会計年度の実績値についてもマネジメント・アプローチに基づいて算出しております。

なお、各数値には、セグメント間の内部取引等を含めた金額を記載しております。

2010年度 単体決算の概要

2010年4月1日から2011年3月31日まで

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2010年度	19,887	17,115	14,486	15,353
対前年同期増減額	5,526	4,925	4,645	6,897
対前年同期増減率	38.5%	40.4%	47.2%	81.6%

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2010年度	1,493,682	376,650	25.2	297.29
2009年度	1,501,980	369,350	24.6	291.38
比較増減	△ 8,298	7,300	0.6	5.91

▶ 剰余金処分

当社では、経営基盤と財務体質の強化に努めながら、安定的な配当を実施していくことを株主配当の基本方針としており、当期の期末配当につきましては、各コア事業の成長と財務体質の強化をバランス良く図りながら、安定的な配当を実施していくため、以下のとおりとなりました。

- (1)株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額
当社普通株式1株につき金5円
総額 6,334,790,905円
- (2)剰余金の配当が効力を生じる日
2011年6月17日

2011年度予想と目標とする経営指標について

▶ 2011年度予想について

今後、厳しい事業環境が続くことが想定されますが、当社では、グループ経営理念の下、「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすべく、中長期的にグループ一体となって持続的な成長を図ってまいります。

次期の予想につきましては、営業収益は、不動産事業において、マンション分譲戸数が増加すること等により、増収となる見込みです。一方、営業利益及び経常利益は、エンタテインメント・コミュニケーション事業、旅行・国際輸送事業及びホテル事業を中心に、東日本大震災の影響を受けること等により、それぞれ減益となる見込みです。しかしながら、当期純利益は、特別損益が改善することにより、増益となる見込みです。

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
2011年度予想	650,000	58,000	42,000	22,000
対前年同期増減率	1.8%	△ 10.4%	△ 9.7%	21.8%

▶ 目標とする経営指標について

これまで当社では、将来の利益伸長に大きく貢献する梅田阪急ビル建て替え(現在進捗中)等の大規模プロジェクトが完了する2012年度におけるグループ全体の企業価値向上の姿を示すため、2012年度を目標年度とし、2007年度から2012年度までの合計6カ年を計画期間とする「阪急阪神ホールディングスグループ2007 中期経営計画」を2007年3月26日に発表し、その後1年ごとに計画の進捗状況をチェックするとともに、事業環境の変化等を踏まえて見直し(ローリング)を行ってきました。本年もこの方針にしたがい見直し後の中期経営計画を発表するべく準備を進めておりましたが、去る2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、先行きの見通しが極めて不透明になったことから、本年については足元の2011年度計画値のみ震災の影響を可能な限り織り込んだうえで公表することといたしました。具体的な計画値は以下に記載のとおりですが、震災の影響を受け、連結有利子負債/EBITDA倍率が2010年度実績は9.8倍、2011年度計画は10.3倍と、2009年度実績の9.6倍からともに悪化することとなります。ただし、震災の影響を除けば2010年度に続き、2011年度も2009年度並みの9.6倍を維持する計画となっており、引き続き財務体質の改善に向けて取り組んでまいります。

()内は東日本大震災の影響を除いた数値

(億円)

	2007年度実績*1	2008年度実績	2009年度実績	2010年度実績	2011年度計画
連結EBITDA	1,452 <(1,432)>*2	→1,353	→1,332	→1,271 (1,305)	→1,200 (1,280)
統合効果*3	22	46	71	79	84
連結有利子負債/EBITDA倍率	8.8倍	9.4倍	9.6倍	9.8倍(9.6倍)	10.3倍(9.6倍)
連結有利子負債	12,711	12,756	12,826	12,517(12,482)	12,400(12,286)
連結D/Eレシオ	2.7倍	2.8倍	2.7倍	2.6倍	2.5倍
連結ROE	0.1%	4.4%	2.3%	3.8%	4.5%

※1 百貨店事業(㈱阪神百貨店(現㈱阪急百貨店)及びその子会社4社、以下「阪神百貨店グループ」という)は2007年度上期まで連結子会社

※2 < >内は百貨店事業(阪神百貨店グループ)を除いた値 ※3 EBITDAベースで算出

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 阪急・阪神の経営統合に伴うのれん償却額

* D/Eレシオ = 有利子負債 / 自己資本

* 億円単位の記載金額は億円未満を四捨五入して表示

東日本大震災の被災者に対する支援活動について

東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東宝(株)、(株)阪急阪神百貨店の4社は、阪急阪神東宝グループとして、被災者の支援および被災地の復興に役立てていただくために、日本赤十字社を通じて合計1億円の義援金を寄付いたしました。

阪急阪神東宝グループでは、このほかに、グループ各社や役員、従業員からの募金により、義援金の寄付などを行ったほか、駅や百貨店、劇場などに義援金募金箱を設置して、お客様にもご協力いただき募金活動を実施いたしました。

阪急電鉄(株)では、大阪フィルハーモニー交響楽団の音楽監督を務める大植英次氏と「大植英次『阪急クラシック』チャリティコンサート」を4月26日に開催し、収益全額とお客様からの募金を、あしなが育英会を通じて東日本大震災で被災した子どもたちのために寄付いたしました。6月25日にも同交響楽団出演による「第2回 阪急ゆめ・まち 親子チャリティコンサート」を開催し、収益をあしなが育英会を通じて被災した子どもたちに寄付いたします。また、宝塚歌劇団では、3月15日から20日までの雪組東京宝塚劇場公演を、チャリティ公演として開催して収益の一部を寄付したことをはじめ、劇場や駅などで宝塚歌劇団生徒が直接お客様に義援金を呼びかけたほか、阪神タイガースもファンの皆様に義援金協力の呼びかけや被災地への支援物資の贈呈などの活動を行いました。

このほか、(株)阪急阪神エクスプレスは、救援物資に係る輸入通関料金を5月31日まで無料にしたほか、(株)阪急阪神ホテルズでは、5月9日から2ヵ月間、東日本大震災の被災者向けに宿泊部屋を無償提供するなど、被災地復興の支援活動に取り組んでおります。



4月1日から、阪急電鉄でのおでかけがもっと安心、もっと快適に

阪急電鉄(株)では、より一層「安全・安心・快適」に駅をご利用いただけるよう、順次各駅の設備及びサービスの充実を進めております。

●ごあんないカウンターを順次設置しております

これまで主要駅に設置されていたサービスセンターのご案内機能を改札口に移し^{*}、オープンカウンターを設けた「ごあんないカウンター」に順次変更しております。「ごあんないカウンター」では、改札内にお入りいただかなくても、お問い合わせなどに気軽にお立ち寄りいただけます。

※梅田・十三・三宮・河原町など主要16駅中8駅にて工事完了(2011年5月末現在)



画像はイメージです

●お客様向けご案内ディスプレイを順次設置しております

列車の運行に遅延などが発生した場合に、わかりやすく路線図で遅延情報を表示するほか、振替輸送に関する情報についてもご案内する「旅客案内ディスプレイ」を、全駅の改札口^{*}に順次設置しております。

※一部の改札口を除きます。

●防犯カメラを増設いたします

より安全に駅をご利用いただけるよう、全駅の改札口付近に録画機能を備えた防犯カメラを設置しております。また駅構内の各箇所にも、防犯カメラを順次設置しております。



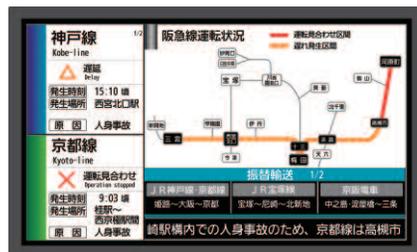
画像はイメージです

●駅係員よびだしインターホンを4月より設置しております

巡回等で駅係員が改札口に不在の場合でも、すみやかにお客様へのご案内ができるよう、全駅の改札口^{*}に「駅係員よびだしインターホン」を設置いたしました。

※一部の改札口を除きます。

駅係員の不在時には、テレビ電話を通じて係員によるご案内をさせていただくほか、お客様がお持ちの乗車券等の券面の確認やICカードの処理等も行っております。



画像はイメージです

都市交通事業

阪急京都線に「京とれいん」がデビュー、5月14日から梅田～河原町間を快速特急として運行しております

阪急電鉄(株)では、3月19日より観光列車「京とれいん」の運行を開始し、5月14日の阪急京都線の土・休日ダイヤの改正以降は、梅田～河原町間の快速特急として、土・休日に1日4往復運行しております。

「京とれいん」は、「京都」と「TRAIN」をかけた愛称で、列車にご乗車になられた瞬間から京都への旅の期待が高まるよう、「和・モダン」を列車コンセプトとして、京都の町家をイメージした内装に改造しております。また、外国から日本にお越しのお客様にもご利用いただきやすいよう、日本語に加えて英語・韓国語・中国語による案内、観光ガイド放送を実施しております。

観光列車「京とれいん」の概要					
停車駅	梅田、十三、淡路、桂、烏丸、河原町				
運行時間	梅田発	9:52	11:52	13:52	15:52
	河原町発	11:01	13:01	15:01	16:42
所要時間	梅田～河原町間 約43分				



お問い合わせ

阪急電鉄交通ご案内センター
☎ 0570-089-500 06-6133-3473
営業時間(平日 9:00～22:00 土・日・祝日 9:00～19:00)

「阪急阪神 1 dayパス」の有効区間を拡大しました

阪急電鉄(株)と阪神電気鉄道(株)では、昨年10月より神戸高速線との一体的な運営を開始し、より便利で利用しやすいサービスの提供を目指しております。今般、2007年4月より通年発売をしている阪急・阪神全線乗り放題の乗車券「阪急阪神 1 dayパス」について、発売額はそのままだに、新たに神戸高速全線(西代駅～阪急三宮駅・阪神元町駅、および湊川駅～新開地駅)を有効区間に加えて発売しております。この乗車券は、阪急・阪神沿線および神戸高速沿線にある施設や観光地へのお出かけ、ビジネスでのご利用など、目的に応じてお好きな1日が乗り降り自由になる、大変お得で便利なものです。



阪急阪神 1 dayパスの概要	
有効区間	【阪急】全線、【阪神】全線、【神戸高速】全線(西代駅、湊川駅含む)
使用条件	有効期間中任意の1日、持参人1名に限り有効区間内乗り降り自由
発売額	大人 1,200円、小児 600円
発売場所	阪急 各駅(天神橋筋六丁目駅を除く) 阪急電鉄ごあんないカウンター
	阪神 各駅(大阪難波駅、係員不在時を除く) 各駅長室
	神戸高速 各駅(西代駅、湊川駅を除く)

4月29日、茶屋町エリアに「NU chayamachiプラス」がオープンしました

阪急電鉄㈱では、4月29日に、茶屋町東地区市街地再開発組合により建設が進められてきた再開発ビルのタワー棟に商業施設「NU chayamachiプラス」をオープンいたしました。

同施設には、20～30代を中心とした自分の個性や感性を大切に「遊び心のある“新感覚オトナ”」向けに、ファッションや雑貨、カフェ&ダイニング等の個性的な専門店23店舗が集結しており、そのうち全国初の新業態店(出店者が新しいブランドコンセプトにより出店する店舗)が2店舗、関西初進出店が2店舗、大阪初進出店が3店舗、梅田初進出店が9店舗と、魅力あふれる店舗構成となっております。

また館内では、間接照明を含む共用部照明のほぼすべてにLED照明を採用し、大規模な壁面緑化や屋上緑化を取り入れるなど、来街者にやさしく環境に配慮した商業施設としております。



オープン時の様子



NU chayamachiプラスの概要	
所在地	大阪市北区茶屋町 8番26号
賃貸面積	約3,000㎡
店舗数	23店舗(物販16店舗、飲食7店舗)
フロア数	地上1～3階
営業時間	(物販)11:00～21:00 (飲食)11:00～24:00 ※店舗により一部異なります
お問い合わせ	NU chayamachi 総合案内 ☎ 06-6373-7371(営業時間11:00～19:00) http://nu-chayamachi.com/

宝塚歌劇 2011年後半の公演ラインアップを発表

宝塚歌劇では、2011年後半に上演する公演ラインアップを発表いたしました。

苦渋に満ちた人生を送る怪人・ファントムの心の葛藤を鮮明に浮かび上がらせ悲劇の結末をよりドラマチックに描き出した、宝塚歌劇ならではの『ファントム』は、再演の期待に応えて今回が3度目の上演となります。また、ハリウッドを代表する豪華な俳優が多数出演することでも知られる映画「オーシャンズシリーズ」の世界初のミュージカル化に星組が挑戦いたします。



2011年後半 公演ラインアップ

公演組	作品名	宝塚大劇場	東京宝塚劇場
宙組	宝塚グランドロマン 『美しき生涯』-石田三成 永遠の愛と義-	5/20	7/8
	レビュー・ロマン 『ルナロッサ』-夜に惑う旅人-	6/20	8/7
	ミュージカル・ロマン 『アルジエの男』	7/29	9/16
花組	三井住友 VISA カード ミュージカル 『ファントム』	6/24 7/25	8/12 9/11
	ミュージカル・ロマン 『アルジエの男』	7/29	9/16
月組	ショー・スペクタクル ダンス ロマネスク 『Dance Romanesque』	8/29	10/16
	ミュージカル 『仮面の男』	9/2	10/21
雪組	ドリームステージ 『ROYAL STRAIGHT FLUSH!!』	10/3	11/20
	Musical 『クラシコ・イタリアーノ』-最高の男の仕立て方-	10/7	11/25
宙組	ショー・アトラクト 『NICE GUY !!』-その男、Yによる法則-	11/7	12/25
	ミュージカル 『オーシャンズ11』	11/11 12/13	2012年 1月予定

お問い合わせ

宝塚歌劇インフォメーションセンター
☎ 0570-00-5100(営業時間10:00~17:00 水曜日定休)
<http://kageki.hankyu.co.jp> (宝塚歌劇公式ホームページ)

阪神甲子園球場で阪神タイガース選手との コラボメニューを販売

阪神甲子園球場では、2011年シーズンも、阪神タイガース選手とのコラボレーションメニューを販売しております。今季は新たに、鳥谷選手、能見選手、マートン選手、平野選手、下柳選手、藤川選手の合計6選手による7つのメニューが加わっております。どれも阪神甲子園球場でしか味わえないオリジナルメニューです。



阪神タイガース選手との新コラボメニューの概要

	商品名	販売価格(税込)	販売場所
①	鳥谷敬の特製生姜焼き丼	800円	内野3階、鳥谷&マートン店 外野3階、鳥谷店
②	能見セレクト フルーツジュース	500円	内野2階、3階、café 外野2階、ココナッツガーデン
③	マートン平焼き	500円	内野3階、鳥谷&マートン店 外野2階、ココナッツガーデン
④	ガッツ!平野の ヒーヒー中華弁当	1,200円	各エリア弁当発売店、 弁当販売ワゴン
⑤	平野恵一プロデュース フルーツサンドウィッチ	600円	内野2階、3階、café 外野2階、ココナッツガーデン
⑥	下柳の本場五島うどん 前後際断さつま揚げ入り	750円	内野3階、タイガースフードコート 外野3階、下柳&城島店
⑦	藤川球児の かつおとしめじの和風バスタ	750円	内野3階、タイガースフードコート 外野2階、ココナッツガーデン

お問い合わせ

阪神甲子園球場
☎ 0798-47-1041代
<http://www.hanshin.co.jp/koshien/>

4月27日、ホームページをリニューアルしました

㈱阪急交通社では、4月27日にインターネットのホームページを全面リニューアルいたしました。

今回のリニューアルは2007年10月以来、3年半振りとなり、ユーザーの皆様のご意見をもとに旅行サイトの使い勝手の向上を目的に、気になるツアーを最大8件までピックアップし、横並びで比較することができる表示を導入するなど、大幅な改修を行いました。

今後もユーザビリティの向上やサイト規模を拡充し、インターネットによる販売を強化してまいります。

【リニューアルポイント】

- ① 検索機能の強化
- ② 詳細検索機能が追加
- ③ ツアーの違いがわかりやすい比較表示
- ④ 国・都道府県・都市・観光地のページが充実
- ⑤ トップページで出発地情報の自動表示

【ホームページ URL】

<http://www.hankyu-travel.com/>



リニューアル トップ画面(イメージ)

パンダ2頭とコアラ4頭を輸送しました



㈱阪急阪神エクスプレスでは、去る2月21日に中国からジャイアントパンダ2頭を輸送いたしました。また3月3日にオーストラリアから到着したコアラ4頭の輸入通関と国内輸送を取り扱いたしました。

ジャイアントパンダ2頭は、四川省・成都空港から上海・浦東国際空港を経由して成田空港に到着後、輸入通関手続きを経て、上野動物園へと輸送いたしました。

また、コアラ4頭は、兵庫県と西オーストラリア州の友好提携30周年にあわせ、親善の証として寄贈されたもので、西オーストラリア州パースのヤンチャップ国立公園からマレーシア・クアラルンプールを経由して関西国際空港に到着後、速やかに輸入通関手続きを行い、目的地である兵庫県・淡路島にある「淡路ファームパークイングランドの丘」まで輸送いたしました。

同社は、日本に初めてパンダやコアラを輸送したフォワードであり、他にもゾウやトラなどの大型動物を始め、シャチやペンギンなど様々な動物の輸送実績があります。動物輸送のパイオニアとしてこれまでの経験と実績を駆使し、動物輸送サービスを通して、豊かな平和社会の発展に貢献してまいります。

阪急阪神第一ホテルグループ 2011年 料理コンテスト 最優秀グランプリを含む受賞作品を各ホテルにて販売

阪急阪神第一ホテルグループでは、今年で第6回目となる「阪急阪神第一ホテルグループ料理コンテスト」を開催し、「お米」を使ったランチプレート」「シュー生地」を使ったデザート」をテーマに、全国のグループホテルから総勢207名のシェフが味と技を競い合いました。

「味付け」「商品力」「盛り付け」「創造性」「ネーミング」の5つの観点を中心に、販売に適した味付けかどうか、お客様にとって魅力的な盛り付けかどうかなど厳正なる審査を勝ち抜いた最優秀グランプリ作品を含む計4作品を、「グランプリセレクション」としてグループ12ホテルにて7月31日まで販売いたしております。



最優秀グランプリ

Rouge(ルージュ)第一ホテル東京 梅田 岳 作

受賞作品の概要

	作品名	名前	ホテル名
最優秀グランプリ (デザート部門)	Rouge(ルージュ)	梅田 岳	第一ホテル東京
第一位(料理部門)	米の鱗をまともたため で鯛ロールと新食感 米パスタ	中矢亮太	高知新阪急ホテル
第二位(料理部門)	come la panino (コマラパニーノ)	清川元希	ホテル阪急エキスポパーク
第三位(料理部門)	お米を使ってワンプ レートフルコース	市川智樹	千里阪急ホテル

お問い合わせ

（株）阪急阪神ホテルズ 営業企画部

TEL 06-6377-5743 受付時間10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

<http://www.hankyu-hotel.com/grandprix/>

関西最大級 『阪急トップビアガーデン』を開催中



阪急トップビアガーデン

大阪新阪急ホテルでは、4月28日より阪急梅田駅上・阪急ターミナルビル屋上にて「阪急トップビアガーデン」の営業を開始いたしました。今年のタイトルは「ほんまでっか!?BG(ピージー)」。大阪の活性化が注目される今、遊び心満載の思わず「ほんまでっか!?」とツッコミたくなるお料理をご用意して、皆さまに笑いと元気をお届けしております。

メニュー例: たこ焼きスライダー、なんでや麺!
雨の御堂寿司など

阪急トップビアガーデンの概要

タイトル	ほんまでっか!?BG(ピージー) ※Beer Gardenの頭文字
日時	9月18日(日)まで ※雨天時は中止の場合がございます
場所	阪急梅田駅上・阪急ターミナルビル屋上(1,000席)
料金	大人 3,700円(消費税込) お子様(4歳~小学生) 2,000円(消費税込)
料理ドリンク	ホテルシェフによるBQG(ピーキューグルメ)48種類とドリンク36種類が時間無制限で食べ放題・飲み放題
営業時間	平日 17:30~21:00 土・日・祝日 17:00~21:00

お問い合わせ

阪急トップビアガーデン

TEL 06-6375-1780

<http://hotel.newhankyu.co.jp>

クックデリ御膳の「姫路店」、「大久保店」、「あべのキューズモール店」をオープンしました



クックデリ御膳
姫路店

(株)いいなダイニングは、3月17日、JR姫路駅プリエごちそう館に「クックデリ御膳 姫路店」、4月17日、JR

山陽本線大久保駅隣接ビル ビエラ大久保に「クックデリ御膳 大久保店」、4月26日、大型ショッピングセンターあべのキューズモールに「クックデリ御膳 あべのキューズモール店」をオープンいたしました。

クックデリ御膳では、お弁当やお惣菜をリーズナブルな価格で提供しており、人気のお惣菜バイキングは種類が豊富で、お客様に大変ご好評をいただいております。

クックデリ御膳 姫路店の概要

所在地	兵庫県姫路市豆腐町222 プリエごちそう館		
電話番号	079-226-2833	営業時間	10:00~21:00
定休日	プリエごちそう館定休日に準ずる(未定)		

クックデリ御膳 大久保店の概要

所在地	兵庫県明石市大久保町ゆりのき通1-3-1 비에라大久保2階		
電話番号	078-937-0340	営業時間	10:00~21:00
定休日	なし		

クックデリ御膳 あべのキューズモール店の概要

所在地	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋1-6-1 キューズモールQ-022		
電話番号	06-6636-6616	営業時間	10:00~21:00
定休日	キューズモール休館日に準ずる (1月1日は決定 他は未定)		

ブックファースト新宿店内に「タリーズコーヒー 新宿コクーンタワー店」がオープンしました

ブックファースト新宿店では、3月30日、1階部分に「タリーズコーヒー 新宿コクーンタワー店」がオープンしました。

ブックファースト新宿店をより快適にご利用していただけるよう5,000円以上お買い上げのお客様に同店のドリンクチケットプレゼントサービスを行っております。また、新宿店で発行しているポイントカードのポイント200Pを同店のドリンクチケットと交換できるサービスも実施しております。

これからも、ブックファースト新宿店は、西新宿



タリーズコーヒー新宿コクーンタワー店

最大の大型書店として、お客様にますます支持されるよう、サービス向上を目指してまいります。

ブックファースト新宿店の概要

所在地	東京都新宿区西新宿1-7-3 モード学園コクーンタワー 地下1階・地下2階		
電話番号	03-5339-7611(代表)		
営業時間	平日 10:00~23:00 土・日・祝日 10:00~22:00		
定休日	不定休		
URL	http://www.book1st.net/shinjuku/		

タリーズコーヒー 新宿コクーンタワー店の概要

所在地	東京都新宿区西新宿1-7-3 モード学園コクーンタワー1階		
営業時間	8:00~21:00		

4月29日、関東地区初のアウトレット店「ダブルデイ レイクタウンアウトレット店」をオープンしました

(株)阪急リテールズでは、4月29日、「ダブルデイ レイクタウンアウトレット店」をオープンいたしました。同店は、日本最大級の商業施設「イオンレイクタウン」に同日オープンした「レイクタウンアウトレット」に出店するもので、関東地区初のアウトレット店として、ダブルデイの世界観を体現する家具、インテリア・生活雑貨、キッチン雑貨をはじめ、クッションやラグのファブリック類などをアウトレット価格にて



ダブルデイ レイクタウンアウトレット店

展開し、スタンダード店では取り扱いのないアウトレットオリジナル商品もご用意しております。

ダブルデイならではの上質でベーシックなライフスタイルをお買得価格でお届けし、関東地区の皆様にご支持いただけるショッピングづくりを目指してまいります。

ダブルデイ レイクタウンアウトレット店の概要	
所在地	埼玉県越谷市東町4丁目50番地 レイクタウンアウトレットファーストアベニュー2階
最寄り駅	JR 武蔵野線「越谷レイクタウン駅」
駐車場	2,200台(「イオンレイクタウン」全体10,400台)
電話番号	048-940-1879
営業時間	10:00~21:00
定休日	不定休

環境保全への取り組み

●LED照明の導入

当社グループでは、消費電力が少ないうえ寿命が長く廃棄物の削減にもつながるLED照明の導入を進めております。

阪急電鉄(株)都市交通事業本部では、昨年3月に新設した摂津市駅の照明をすべてLED照明にしたことに続き、甲陽園駅、洛西口駅でも照明のLED化を完了いたしました。今年3月には、大規模駅としては初めて、十三駅の大半の照明をLED化しました。また、車内照明をすべてLED照明とした車両を、昨年12月から神戸線で、今年3月から宝塚線で各1編成運行しております。

同社不動産事業本部でも、4月29日に開業したNU chayamachiプラスにおいて、共用部照明のほぼ全てにLED照明を採用いたしました。

同社創遊事業本部でも、宝塚大



NU chayamachiプラス

劇場のロビー、ホワイエなどの照明器具(シャンデリアやブラケット)にフィラメント型LED電球を採用し、従来の白熱電球のシャンデリアがもつ豪華さを損なうことなく、大幅な消費電力量の削減と長寿命化を図っております。

(株)阪急リテールズでは、昨年のアズナス阪神西梅田店に続き、今年3月、アズナス尼崎店でも、LED照明を導入いたしました。

(株)阪急阪神ホテルズでは、京都市新阪急ホテルと大阪新阪急ホテルのロビーなどで、LED照明を使用したダウンライトを採用しております。



宝塚大劇場



アズナス尼崎店



大阪新阪急ホテル

未来が変わる。
日本が変わる。



株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会

6月

基準日

定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

単元株式数

1,000株

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法

電子公告(但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載)

電子公告掲載 URL: <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/ir/>

単元未満株式(1~999株)をご所有の株主の皆さまへ

次のいずれかの方法により、ご所有の単元未満株式を整理していただくことができます。なお、単元未満株式が特別口座で管理されている場合、手数料は無料です(証券会社で管理されている場合の手数料は、各証券会社にお問い合わせください。)

1. 買取請求

ご所有の単元未満株式の市場価格での買取りを請求していただく制度です。

2. 買増請求

ご所有の単元未満株式を単元株(1,000株)にするために必要な株数を市場価格で買い増していただく制度です。

株主優待方法

2011年6月現在

優待内容 優待基準株数	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線/バス)	グループ 優待券
1 ~ 999	—	—	1冊
1,000 ~ 2,399	4回カード×1枚 (4回乗車分)	—	
2,400 ~ 4,999	4回カード×3枚 (12回乗車分)	—	
5,000 ~ 9,999	25回カード×1枚 (25回乗車分)	—	
10,000 ~ 30,999	30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
31,000 ~ 48,999	①30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
※①②のいずれかを選択	②10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線/バス1枚	
49,000 ~ 79,999	①10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線/バス1枚	
※①②のいずれかを選択	②10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線/バス1枚	
80,000 ~ 999,999	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線/バス1枚 + 阪神電車全線/バス1枚	
100万以上	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線/バス10枚 + 阪神電車全線/バス10枚	

- 1) 阪急電車全線/バスの通用区間: 阪急電車線全線(神戸高速線を除く)
- 2) 阪神電車全線/バスの通用区間: 阪神電車線全線(神戸高速線を除く)
- 3) 共通回数カードの通用区間: 阪急電車線及び阪神電車線全線(いずれも神戸高速線を除く)
- 4) グループ優待券: 入場券、宿泊・飲食割引券、旅行割引券、その他の特別優待券など
- 5) グループ優待券のご利用範囲につきましては券面をご参照ください。
- 6) 優待につきましては、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送いたします。(年2回)

株式のお手続きに関するお問い合わせ先

手続の内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続き		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL. 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む。)につきましては、特別口座で管理されております。
特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせください。

発行: 阪急阪神ホールディングス株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号 ☎06-6373-5100 FAX06-6373-5670

当社グループの経営につきまして、株主様のご意見・ご感想をお待ちしております。 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/voice/>

株主通信は、環境に配慮し、植林木・無塩素漂白で製造された用紙と、大豆油インキを使用しております。

